

春の全国火災予防運動

平成27年度

全国統一防火標語

「無防備な

心に火災が

かくれんぼ」

3月1日(火)から7日(月)までの7日間、春の全国火災予防運動が実施されます。

春先にかけては、乾燥した強い風が吹く日が多くなり、いったん火災が発生すると、大きな火災になることがあります。

この運動は、火災予防への関心を高め、火災による死傷者と財産の損失を防ぐことを目的として実施するものです。

火災を発生させないために、日頃から家庭、地域、職場等において火災予防に心がけてください。

《住宅防火 いのちを守る

7つのポイント》

3つの習慣

○寝たばこは、絶対やめる。

○ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。

○ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

○逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を設置する。

○寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐため、防炎品を使用する。

○火災を小さいうちに消すため、住宅用火災警報器を設置する。

○お年寄りや身体の不自由な人を守るため、隣近所の協力体制をつくる。

○住宅火災の出火原因の多くは、ガス台などのこんろからの出火です。

日ごろから整理整頓を心がけると共に、可燃物との距離を確保し火事を起こさないようにしましょう。

○カセット型こんろでは、誤った使用方法により火災事故が発生しています。取扱説明書をよく読み正しく使いましょう。

住宅用火災警報器 交換のおすすめ

10年たったら、とりカエル。



問 消防総務課

(61) 0911

ごみ集積場所のルールを守ろう

日常生活を営むうえで、どうしても発生してしまう「ごみ」。

この「ごみ」を集積する場所でトラブルが発生しています。

利用する皆さんで解決できることもありますので、一人ひとりが、ちょっとした心遣いをして、きれいなまちづくりに取り組んでいきましょう。

問 美化センター ☎ (72) 4438

不審火が発生しています

昨年から、ごみ集積場所でごみが燃える事例が頻発しています。

幸い、大事には至りませんが、大変危険なことです。

空気が乾燥する時期が続いています。ごみを出す時間や分別方法などを守って、安心して暮らせる「きれいなまちづくり」にご協力ください。

カラスよけネットを片付けよう

風の強い日に、カラスよけネットが歩道や車道に広がってしまい、自転車やオートバイで通行する方が危ない思いをしているとの声を聞きます。

収集員はごみの回収が終わったらず、カラスよけネットを固定用ピンチでガードレールに止めるなど対応していますが、ルール違反のごみが多いと、片付けることができません。

カラスよけネットは、ごみ集積場所を利用する皆さんにとって、カラス被害を減らす重要なものです。しかし、ルールを守らないと、周辺を通行する人にとって、危険で迷惑なものとなってしまいます。

ごみ集積場所は、地域の皆さんの協力があって、はじめて、きれいに保つことができます。皆さん一人ひとりがルールとマナーを守って、きれいなまちにしましょう。



▲固定用ピンチで止められたカラスよけネット

